

福知山市商工会 企業業況調査

平成30年4月調査結果(3月実績 調査対象 88件) (平成30年5月7日公表)

■景況感

	今回調査数	現状		先行3ヶ月		先行1年		
		今回	前回	今回	前回	今回	前回	
全体	89	36.8	37.5	36.8	35.2	33.4	34.1	
地域別	三和	21	38.1	32.1	40.5	28.6	38.1	32.1
	夜久野	29	31.0	30.0	29.3	28.3	28.4	25.8
	大江	39	40.4	47.9	40.4	45.8	34.6	43.1
業種別	製造業	22	52.3	46.6	45.5	40.9	44.3	42.0
	建設業	26	35.6	39.6	36.5	34.4	34.6	31.3
	卸小売業	14	21.4	31.9	26.8	31.9	19.6	29.2
	サービス業	27	33.3	31.3	35.2	33.3	30.6	33.3

景況感DIの算出方法

回答構成比(%)に、以下の点数を乗じてDIを算出

良い+1.0、やや良い+0.75、どちらともいえない+0.5、やや悪い+0.25、悪い+0.0
(すべてが「どちらともいえない」と回答した場合、DIは「50.0」)

※旧福知山市の事業者があるため、地域別と業種別の調査数は異なる。

景況感DIは37.5と前回調査よりも7.3ポイントの回復となった。地域別では、前回大きく悪化した三和町地域が前々回の値まで回復し、大江町地域も前回に比べて11.4ポイントの回復となった。特に大江町地域の業況回復が目立つ。業種別では、建設業と卸小売業が10ポイント以上の回復となっているが、製造業とサービス業は微増に留まった。

先行調査でも、大江町地域の回復傾向が目立つ。しかしながら、全体的には先行3ヶ月が35.2、先行1年が34.1と、前回に比べて僅かながらの回復に留まっており、先行きに対しては慎重な姿勢が継続されている様子がうかがえる。

■経営動向

○製造業・建設業

	今期		前年同期比		前期比	
	今回	前回	今回	前回	今回	前回
引合			-31.3	-18.2	-41.7	-18.2
売上			-37.5	-20.0	-45.8	-13.3
採算	6.3	31.1	-31.3	-17.8	-33.3	-13.3
資金繰り	-14.6	0.0				
業況	-27.1	-2.2				

経営動向DIの算出方法

「良い」とみる割合(%)から、「悪い」とみる割合(%)を引いてDIを算出

(「良い」と「悪い」の割合が同じ場合、DIは「0」)

(製造業・建設業)グループと、(卸小売業・サービス業)グループに分類して集計をしている。

○卸小売業・サービス業

	今期		前年同期比		前期比	
	今回	前回	今回	前回	今回	前回
売上			-26.8	-45.2	-41.5	-31.7
客数			-24.4	-52.4	-43.9	-31.7
客単価			-19.5	-28.6	-34.1	-12.2
採算	-17.1	-9.5				
資金繰り	-31.7	-40.5				
業況	-39.0	-52.4				

★今期の経営動向

製造業・建設業においては、採算が31.1と前回調査に比べて大幅に回復している。また、資金繰りや業況も、プラスマイナス0前後にまで回復している。

卸小売業・サービス業においては、採算は僅かながら回復がうかがえるものの、良いとみる事業者が非常に少ないことから、資金繰りは大幅に悪化、業況は引き続き極めて厳しい状況が続いている。

★前年同期比、前期比

製造業・建設業においては、すべての調査項目で、前年同期比、前期比ともに回復傾向にあるものの、依然2ケタのマイナス圏にあり、苦戦が続いている様子が見られる。卸小売業・サービス業においては、増加(好転)しているとみる事業者が少ないため、大きなマイナス値となっているが、客単価に回復の兆しが見られる。

■今期直面している経営上の問題点 (業種別上位5項目 項目の後の()は前回順位(同順位あり)、業種の後の数字は選択された数)

	製造業(53)		建設業(60)		卸小売業(30)		サービス業(58)	
1位	設備の不足、老朽化(2)	18.9%	従業員の確保難(1)	18.3%	競争の激化(2)	25.8%	仕入価格の上昇(1)	16.9%
2位	人件費の増加(3)	15.1%	需要の停滞(2)	16.7%	消費者ニーズの変化への対応(3)	22.6%	需要の停滞(2)	15.3%
3位	従業員の確保難(1)	13.2%	競争の激化(3)	16.7%	仕入れ価格の上昇(5)	12.9%	従業員の確保難(5)	13.6%
4位	仕入れ価格の上昇	9.4%	仕入れ価格の上昇	15.0%	販売価格の低下	9.7%	設備の不足、老朽化(4)	11.9%
5位	競争の激化(5)	9.4%	設備老朽化(5)・経費の増加・ニーズの変化	6.7%	設備老朽化・経費の増加	6.5%	競争の激化	10.2%

前回調査と順位上の大きな違いは見られない。しかし、製造業や建設業で1位となっている『従業員の確保難』を問題とする割合が、それぞれ2.0%と4.6%増加している。人手不足は、製造業や建設業に限ったことではなく、すべての業種で耳にする話題となっており、現在は問題点として認識していない事業者においても、注意しておく必要がある。また、卸小売業では、4位に『仕入・人件費以外の経費の増加』が入り、サービス業では2位の『需要の停滞』を問題とする割合が4.5%減少するなど、問題点の傾向にも変化の兆しが見られる。

■ 向こう1年間の設備投資の計画

あり (23事業者 34案件)					なし
上段:投資金額		下段:投資対象			
1000万以上	~1000万	~500万	~100万		66事業者
4	2	13	4		
土地	建物	機械重機	什器備品	車両	
1	8	10	7	8	

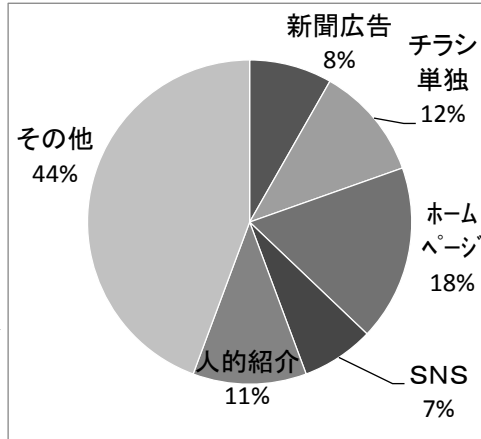
業種別	地域別		
製造業	7/22	三和	5/21
建設業	7/26	夜久野	10/29
卸小売業	2/14	大江	8/39
サービス業	7/27		
合計	23/89	合計	23/89

全体の20%である18事業者が、向こう1年間に28案件の設備投資を計画しており、内、6事業者で総額1000万円を超える計画を有している。設備投資の対象としては、製造業や建設業での計画が多いこともあり、機械重機の割合が若干多くなっている。業種別では卸小売業の計画が少なく、他の3業種では大きな差異は見られない。地域別についても際立った違いは見られない。

■ 過去1年間に実施した販路開拓ツール

(15個の選択肢から複数個選択回答 項目の後の数字は選択された割合)

過去1年間に実施した販路開拓ツールとしては、91事業者の内、44事業者(48%)から、81点の販路開拓ツールを利用した旨の回答をであった。視点を変えれば、半数強の事業者が販路開拓をしていないということであり、実施した販路開拓ツール数が平均2点以下(1.84点)であることから、販路開拓について全体的に消極的であるとの傾向が読み取れる。
業種別では、サービス業で実施する事業者が多く、製造業で少ない。地域別では三和町地域が少ない。
折込チラシ(単独)は、製造業を除く3業種からほぼ均等の回答を得た。ホームページやSNS活用はすべての業種で実施されている。とりわけ、サービス業において実施しているとの回答が多い。



業種別	
製造業	7/22
建設業	13/26
卸小売業	6/14
サービス業	14/27
合計	40/89
地域別	
三和	7/21
夜久野	22/29
大江	10/39
合計	39/89

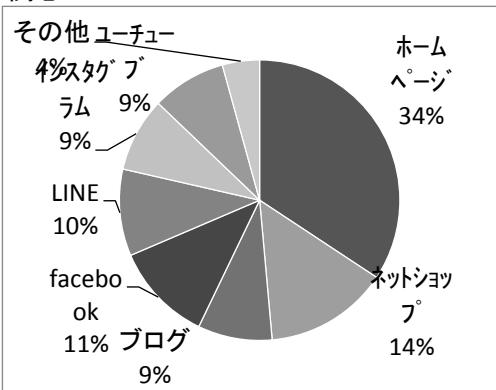
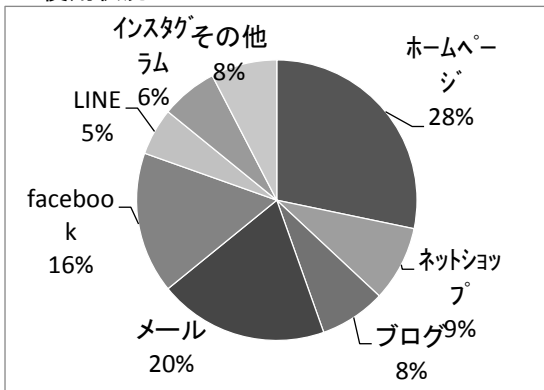
■ インターネットツールの使用状況と関心

(複数個選択回答 項目の後の数字は選択された割合)

使用状況

関心

(実施事業者数/事業者数)



業種別	使用	関心
製造業	8/22	9/22
建設業	15/26	10/26
卸小売業	6/14	5/14
サービス業	15/27	14/27
合計	44/89	38/89
地域別	使用	関心
三和	11/21	8/21
夜久野	19/29	18/29
大江	14/39	12/39
合計	44/89	38/89

47事業者から、91点のインターネットツールの使用状況の回答を得た。概ね半数の事業者が平均2つのツールを使用しているとの結果となっている。使用が多いツールとしてはホームページが6割を超えており、次いでFacebook、メール、Instagramと続いている。業種別、地域別には際だった特徴は見られない。

ツールへの関心があると回答した事業者は、現在使用している事業者と重なっている。このことから、現時点でインターネットツールを使用していない事業者の多くでは、今後も使用しない可能性が高いと推定される。関心があるツールとしては、ネットショップやLINEの選択が多いのが特徴である。

この調査は、福知山市商工会会員事業所を対象として、景気判断や経営動向等についての定性的な判断を調査し、事業所を取り巻く内外の環境変化を定量的に明らかにすることを目的として実施しています。

次回は平成30年4月~6月の状況について、平成30年7月に調査する予定です。商工会の支援員が調査にお伺いしますので、調査対象の事業所様には引き続きご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。